

2024 年

沖縄県感染症発生動向調査事業報告書

沖縄県保健医療介護部地域保健課
沖縄県衛生環境研究所

はじめに

沖縄県の感染症発生動向調査事業の推進につきましては、一般社団法人沖縄県医師会をはじめ、定点医療機関など関係者の皆様方に多大なご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本事業は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき実施しており、感染症の発生動向を継続的に把握し、その分析を行い、情報を公表することによって、感染症の発生及びまん延を防止することを目的としています。

新型コロナウイルス感染症は、2023年5月8日に五類感染症の定点把握疾患となって以降も、高齢者において重症化リスクが依然として高く、2024年には第27週（7月1日から7日）をピークに県内で感染が拡大し、60歳以上の方が多く入院しました。このような発生状況と、国より注意報・警報の発令基準が示されていないことを踏まえ、本県では、2024年12月に県独自の「新型コロナ感染拡大準備情報」の発出基準を設定、感染拡大の兆候を捉えた際には高齢者が多く入院・入居する医療機関や高齢者施設に対する感染拡大への備え等の注意喚起を行うこととしました。

他の感染症では、百日咳の届出数が累計86人となり、2018年に全数把握となって以降、最多の報告数となりました。県衛生環境研究所の解析により、第一選択薬として使用されるマクロライド系抗菌薬に耐性を持つ百日咳菌が検出されたことから、抗菌薬の選択について検討するよう県内医療機関等へ情報提供を行いました。

本県としましては、引き続き関係機関と連携を図りながら、患者情報等の収集・解析・情報還元を積極的に行うとともに、本事業の推進と感染症対策の強化に努めて参ります。関係機関の皆様方には、今後とも御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

沖縄県保健医療介護部地域保健課長

目 次

感染症法における届出対象疾患一覧	1
I 事業の概要	3
1 県内の保健所別定点数	4
2 感染症発生動向調査事業定点医療機関一覧（沖縄県）	5
3 報告週対応表および定点種別定点数（全国）	6
II 報告の概要	7
1 全数把握感染症（91疾患）の報告状況	7
2 五類定点把握感染症（週報18疾患、月報7疾患）の報告状況	
（1）週報	8
（2）月報	9
3 週別患者発生状況	
（1）報告数一覧表（沖縄県）	11
（2）報告数一覧表（全国）	11
（3）グラフ一覧（沖縄県）	12
（4）グラフ一覧（全国）	14
4 月別患者発生状況	
（1）報告数一覧表（沖縄県）	16
（2）グラフ一覧（沖縄県）	16
（3）報告数一覧表（全国）	17
（4）グラフ一覧（全国）	17
III 定点把握対象 五類感染症（週報・月報）発生状況	
1 週報	
（1）インフルエンザ／COVID-19定点	
インフルエンザ	19
COVID-19	22
（2）小児科定点	
R S ウイルス感染症	24
咽頭結膜熱	26
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28
感染性胃腸炎	30
水痘	32
手足口病	34
伝染性紅斑	36
突発性発しん	38
ヘルパンギーナ	40
流行性耳下腺炎	42

(3) 眼科定点		
急性出血性結膜炎	・ ・ ・ ・ ・	44
流行性角結膜炎	・ ・ ・ ・ ・	46
(4) 基幹定点		
細菌性髄膜炎	・ ・ ・ ・ ・	48
無菌性髄膜炎	・ ・ ・ ・ ・	50
マイコプラズマ肺炎	・ ・ ・ ・ ・	52
クラミジア肺炎	・ ・ ・ ・ ・	54
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	・ ・ ・ ・ ・	56

2 月報

(1) 性感染症(STD) 定点		
性器クラミジア感染症	・ ・ ・ ・ ・	59
性器ヘルペスウイルス感染症	・ ・ ・ ・ ・	59
尖圭コンジローマ	・ ・ ・ ・ ・	59
淋菌感染症	・ ・ ・ ・ ・	59
ア. 疾患別定点当たり報告数（年合計）の年次推移	・ ・ ・ ・ ・	60
イ. 性別・年齢別患者報告数（沖縄県：2023年）	・ ・ ・ ・ ・	61
(2) 基幹定点(薬剤耐性菌)		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	・ ・ ・ ・ ・	62
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	・ ・ ・ ・ ・	64
薬剤耐性緑膿菌感染症	・ ・ ・ ・ ・	66

IV 資料編

1 各表（週報および月報）

表1 疾病分類別報告数（沖縄県）	・ ・ ・ ・ ・	69
表2 疾病分類別報告数（全国）	・ ・ ・ ・ ・	72
表3 疾病別、年齢別区分による比較（週報・沖縄県）	・ ・ ・ ・ ・	75
表4 疾病別、年齢別区分による比較（月報・沖縄県）	・ ・ ・ ・ ・	76
表5 疾病別、年齢別区分による比較（月報・沖縄県(男性)）	・ ・ ・ ・ ・	77
表6 疾病別、年齢別区分による比較（月報・沖縄県(女性)）	・ ・ ・ ・ ・	77

2 定点把握対象 五類感染症（週報および月報）

感染症発生動向調査システムと警報・注意報の解説	・ ・ ・ ・ ・	79
-------------------------	-----------	----

(1) 週別報告数・定点当たり報告数（週報）

ア. インフルエンザ/COVID-19定点		
インフルエンザ	・ ・ ・ ・ ・	80
COVID-19	・ ・ ・ ・ ・	82

イ. 小児科定点

R S ウイルス感染症	・ ・ ・ ・ ・	84
咽頭結膜熱	・ ・ ・ ・ ・	86
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	・ ・ ・ ・ ・	88
感染性胃腸炎	・ ・ ・ ・ ・	90
水痘	・ ・ ・ ・ ・	92
手足口病	・ ・ ・ ・ ・	94
伝染性紅斑	・ ・ ・ ・ ・	96
突発性発しん	・ ・ ・ ・ ・	98

ヘルパンギーナ	100
流行性耳下腺炎	102

イ. 眼科定点	
急性出血性結膜炎	104
流行性角結膜炎	106

ウ. 基幹定点	
細菌性髄膜炎	108
無菌性髄膜炎	110
マイコプラズマ肺炎	112
クラミジア肺炎	114
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	116

(2) 月別報告数・定点当たり報告数（月報）

ア. 性感染症(STD) 定点	
性器クラミジア感染症	118
性器ヘルペスウイルス感染症	119
尖圭コンジローマ	120
淋菌感染症	121

イ. 基幹定点(薬剤耐性菌)	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	122
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	123
薬剤耐性緑膿菌感染症	124

V 病原体検出情報	
病原体検出情報	125
表1 年別・疾患別検査件数および病原体検出数（沖縄県：2019-2023年）	127
表2 月別・疾患別検査件数および病原体検出数（沖縄県：2023年）	128
表3 検出病原体一覧（沖縄県：2023年）	129

VI 参考資料	
結核の発生動向	131
腸管出血性大腸菌感染症の発生動向	133
梅毒の発生動向	136
後天性免疫不全症候群(HIV感染者/AIDS患者)の発生動向	139

感染症法における届出対象疾患一覧

(2024年12月31日現在)

1 医師による届出対象疾患

○届出基準:「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」

一類

- | | |
|-----------------|-------------|
| (1) エボラ出血熱 | (5) ペスト |
| (2) クリミア・コンゴ出血熱 | (6) マールブルグ病 |
| (3) 痘そう | (7) ラッサ熱 |
| (4) 南米出血熱 | |

二類

- | | |
|---|---|
| (8) 急性灰白髄炎(ポリオ) | (12) 中東呼吸器症候群
(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る) |
| (9) 結核 | |
| (10) ジフテリア | (13) 鳥インフルエンザ(H5N1) |
| (11) 重症急性呼吸器症候群
(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る) | (14) 鳥インフルエンザ(H7N9) |

三類

- | | |
|------------------|------------|
| (15) コレラ | (18) 腸チフス |
| (16) 細菌性赤痢 | (19) パラチフス |
| (17) 腸管出血性大腸菌感染症 | |

四類

- | | |
|---|------------------------------|
| (20) E型肝炎 | (41) デング熱 |
| (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む) | (42) 東部ウマ脳炎 |
| (22) A型肝炎 | (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く) |
| (23) エキノコックス症 | (44) ニパウイルス感染症 |
| (24) 黄熱 | (45) 日本紅斑熱 |
| (25) オウム病 | (46) 日本脳炎 |
| (26) オムスク出血熱 | (47) ハンタウイルス肺症候群 |
| (27) 回帰熱 | (48) Bウイルス病 |
| (28) キャサスル森林病 | (49) 鼻疽 |
| (29) Q熱 | (50) ブルセラ症 |
| (30) 狂犬病 | (51) ベネズエラウマ脳炎 |
| (31) コクシジオイデス症 | (52) ヘンドラウイルス感染症 |
| (32) エムボックス | (53) 発しんチフス |
| (33) ジカウイルス感染症 | (54) ボツリヌス症 |
| (34) 重症熱性血小板減少症候群
(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る) | (55) マラリア |
| (35) 腎症候性出血熱 | (56) 野兎病 |
| (36) 西部ウマ脳炎 | (57) ライム病 |
| (37) ダニ媒介脳炎 | (58) リッサウイルス感染症 |
| (38) 炭疽 | (59) リフトバレー熱 |
| (39) チクングニア熱 | (60) 類鼻疽 |
| (40) つつが虫病 | (61) レジオネラ症 |
| | (62) レプトスピラ症 |
| | (63) ロッキーマウンテン紅斑熱 |

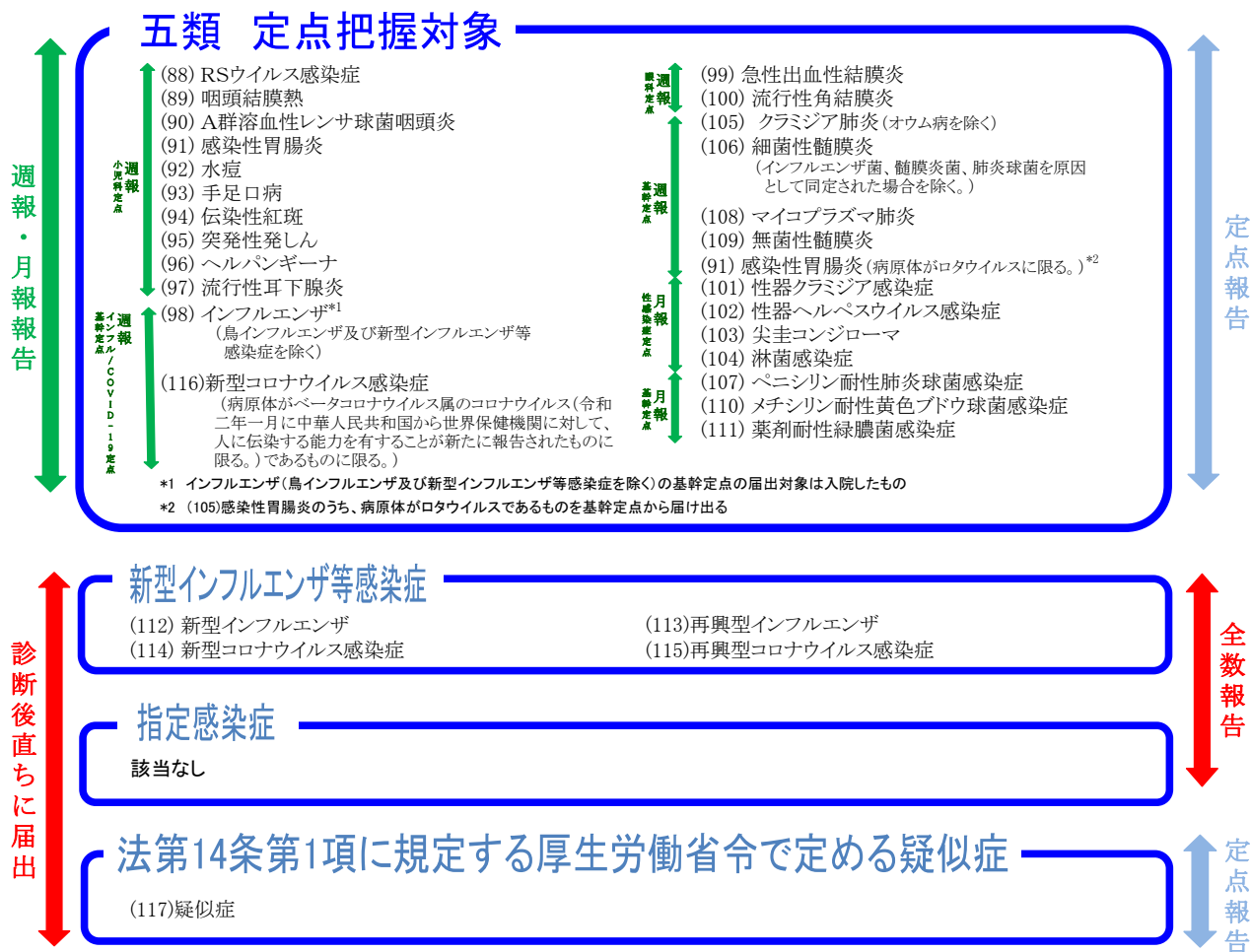
五類 全数把握対象

- | | |
|--|-----------------------------------|
| (64) アメーバ赤痢 | (75) 侵襲性髄膜炎菌感染症 *直ちに届出 |
| (65) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く) | (76) 侵襲性肺炎球菌感染症 |
| (66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | (77) 水痘
(患者が入院を要すると認められるものに限る) |
| (67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) | (78) 先天性風しん症候群 |
| (68) 急性脳炎
(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く) | (79) 梅毒 |
| (69) クリプトスポリジウム症 | (80) 播種性クリプトコックス症 |
| (70) クロイツフェルト・ヤコブ病 | (81) 破傷風 |
| (71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | (82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 |
| (72) 後天性免疫不全症候群 | (83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 |
| (73) ジアルジア症 | (84) 百日咳 |
| (74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | (85) 風しん *直ちに届出 |
| | (86) 麻しん *直ちに届出 |
| | (87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症 |

診断後直ちに届出

全数報告

七日以内に届出



届出は管轄保健所へ

2 獣医師による届出対象疾患と動物

○届出基準:「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第13条第1項の規定に基づく届出の基準について」

感染症法第13条に基づく獣医師が届出を行う感染症と動物

- | | |
|---|---|
| (1) エボラ出血熱(サル) | (6) ウエストナイル熱(鳥類に属する動物) |
| (2) 重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る(イタチアナグマ、タヌキ及びハクビシン)) | (7) エキノコックス症(犬) |
| (3) ペスト(プレリードッグ) | (8) 結核(サル) |
| (4) マールブルグ病(サル) | (9) 鳥インフルエンザ
(H5N1またはH7N9(鳥類に属する動物)) |
| (5) 細菌性赤痢(サル) | (10) 中東呼吸器症候群(ヒトコブラクダ) |

届出は管轄保健所へ

I 事業の概要

I 事業の概要

沖縄県は 1980 年 7 月から県医師会および定点医療機関の協力のもとに全県的な感染症の報告体制を構築し、疾患の流行状況の把握に努めるべく、感染症サーベイランス事業を厚生省（現厚生労働省）より早く開始した。

厚生省は、1981 年 7 月から感染症の実態を的確に把握するために全国的な感染症サーベイランス事業を開始した。さらに、1987 年 1 月からは新たに「結核・感染症サーベイランス事業」となり、全国の保健所、都道府県（指定都市）、厚生省間がコンピュータオンラインシステムで結ばれ、結核および感染症の情報が迅速かつ的確に利用できるようになった。

感染症サーベイランス事業は、1998 年より感染症発生動向調査事業となり、さらに「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「感染症法」とする。）が 1999 年 4 月から施行され、感染症対策の強化が行われてきた。

2006 年 4 月には、新しい全国オンラインシステムである感染症サーベイランスシステム（NESID）が稼働している。

2024 年末までに届出対象となる感染症は、一類感染症 7 疾患、二類感染症 7 疾患、三類感染症 5 疾患、四類感染症 44 疾患、五類感染症 49 疾患（全数把握 24 疾患、定点把握 25 疾患）、新型インフルエンザ等感染症 4 疾患、法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の計 117 疾患である。

これらの感染症は、医師が患者発生状況を所管保健所に報告し、各保健所からの報告を感染症対策課で集約して国に報告している。衛生環境研究所に設置された感染症情報センターでは、感染症情報の提供を図るため、データの収集および提供を行っている。県感染症対策課および各保健所においては、感染症情報センターで処理された集計データおよび全国の還元データを利用し、各関係機関に情報提供をするとともに、感染症の流行状況の把握を行っている。なお、新型コロナウイルス感染症については、2020 年 2 月 1 日より指定感染症として新たに指定後、2021 年 2 月 13 日には新型インフルエンザ等感染症に変更された。2023 年 5 月 8 日より五類感染症（定点把握対象疾患）に変更された。

また、衛生環境研究所では、病原体定点などの医療機関から搬入された検体について病原体の検索を行い、得られた結果を各関係機関に情報提供しているが、2016 年 4 月の感染症法の一部改正法の施行に伴い、病原体情報の収集体制が強化された。

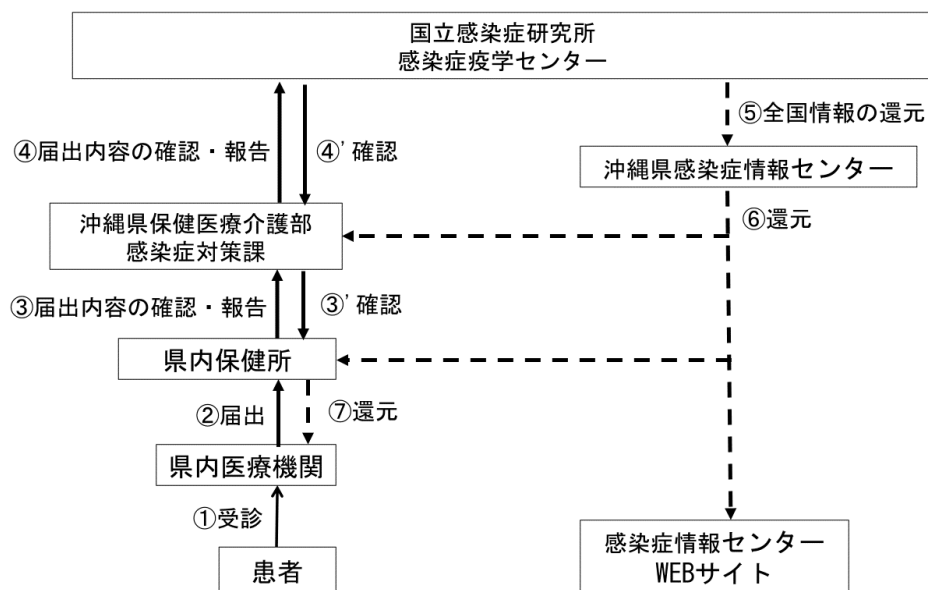
【沖縄県感染症情報センター ウェブサイト】

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005861/1006484.html>

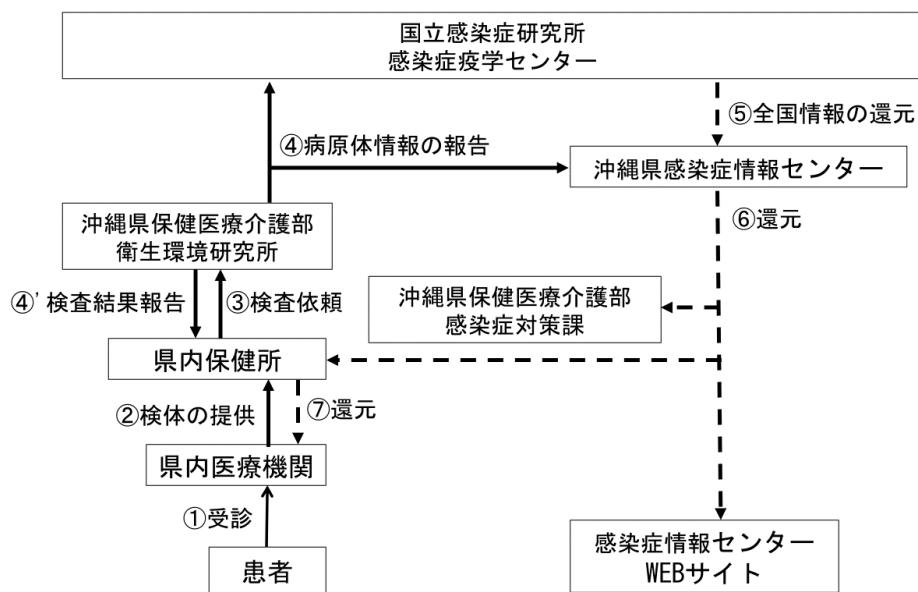
【定点医療機関】

2024 年末時点の県内の定点医療機関は、小児科 32 定点（うち 4 定点が病原体定点を兼ねる）、インフルエンザ/COVID-19 定点 54 定点（小児科 32 定点＋内科 26 定点、うち 5 定点が病原体定点を兼ねる）、眼科 9 定点（うち 3 定点が病原体定点を兼ねる）、性感染症 12 定点、基幹 7 定点（うち 7 定点が病原体定点を兼ねる）の合計 87 定点である。

実施体制（患者情報）



実施体制（病原体情報）



1 県内の保健所別定点数（2024年12月31日現在）

保健所名	小児科 定点 (ア)	内科 定点 (イ)	インフルエンザ 定点 (ア)+(イ)	眼科 定点	性感染症 (STD) 定点	基幹 定点	医療 機関数
①北部保健所	3	2	5	1	1	1	5
②中部保健所	11	10	21	2	4	2	22
③那覇市保健所	7	5	12	1	3	1	10
④南部保健所	8	6	14	3	4	1	16
⑤宮古保健所	2	2	4	1	0	1	5
⑥八重山保健所	2	1	3	1	0	1	3
合計	33	26	59	9	12	7	61

2 感染症発生動向調査事業定点医療機関一覧(沖縄県)

保健所名	医療機関名	住 所	全 87定点※1	26	32	9	7	12
			(定点名)	内科	小児科	眼科	基幹	STD
北部保健所	県立北部病院	名護市大中2-12-3	小児科、内科、基幹	●	●		●	
	儀保小児科内科医院	名護市大西2-4-32	小児科		●			
	今帰仁診療所	今帰仁村字謝名139	小児科、内科	●	●			
	医療法人紫友会 さくら眼科	名護市伊差川310-1	眼科			●		
	なかち泌尿器科クリニック	名護市大中5-4-50	STD(泌)					●
中部保健所	医療法人ユリアア沖縄 かなな病院	宜野座村字漢那469	内科	●				
	石川医院	うるま市石川2-21-5	内科	●				
	医療法人きんくクリニック	金武町字金武94	内科	●				
	岸本内科クリニック	沖縄市登川1-1-24	内科	●				
	愛聖クリニック	沖縄市高原5-15-11	内科	●				
	ライフケアクリニック長浜	読谷村字長浜1530-1	内科	●				
	ちばなクリニック	沖縄市字知花6-25-15	小児科、内科、STD(泌)	●	●			●
	県立中部病院	うるま市宮里281	小児科、基幹		●		●	
	みやぎ小児科クリニック	宜野湾市我如古447-1	小児科		●			
	嘉数医院	沖縄市諸見里1-26-2	小児科		●			
	大嶺医院※2	うるま市田場1417	小児科		●			
	そけん小児科	読谷村字波平2459	小児科		●			
	愛知クリニック	宜野湾市字愛知1-2-12	小児科		●			
	いとむクリニック小児科	宜野湾市伊佐1-10-9	小児科		●			
	宮里眼科	うるま市石川東山1-22-2	眼科			●		
	中頭病院	沖縄市登川610	基幹、STD(産)				●	●
	うえむら病院	中城村南上原803-3	小児科、STD(産)		●			●
	中部徳洲会病院	北中城村字比嘉801番地	STD(泌)					●
	のだけこどもクリニック※3	沖縄県宜野湾市野嵩2丁目17-22	小児科、内科	●	●			
	読谷平和こどもクリニック※4	読谷村字上地34番地	小児科、内科	●	●			
	あずま呼吸器内科クリニック※4	うるま市赤道174-12 201号	内科	●				
	医療法人高德会松永眼科医院※4	沖縄市美里2-10	眼科			●		
南部保健所	浦添総合病院	浦添市前田1-56-1	内科	●				
	同仁病院	浦添市城間1-37-12	内科	●				
	みゆき小児科	浦添市字前田3-3-8-103号	小児科		●			
	ありんクリニック小児科	浦添市伊祖2-1-3メディカルプレイス伊祖4F	小児科		●			
	ティーダこどもクリニック	浦添市城間4-3-10-1	小児科		●			
	比嘉眼科病院	浦添市城間4-34-20	眼科			●		
	県立南部医療センター・こども医療センター	南風原町字新川118-1	小児科、内科、基幹、STD(泌)	●	●		●	●
	南部徳洲会病院	八重瀬町字外間171-1	内科、STD(泌)	●				●
	友愛医療センター	豊見城市字与根50番地5	小児科、内科、STD(産)	●	●			●
	わんぱくクリニック	南風原町字津嘉山1490	小児科		●			
	与那原中央病院	与那原町字与那原2905	内科	●				
	ひめゆりクリニック	糸満市字伊原107-1	小児科		●			
	あおぞら小児科	与那原町字上与那原340-1	小児科		●			
	安里眼科	糸満市字潮平722	眼科			●		
	はえばる眼科医院	南風原町字兼城725	眼科			●		
	パークレーレディースクリニック	浦添市当山2-2-11-5F	STD(産)					●
	県立宮古病院	宮古島市平良字下里427-1	小児科、基幹		●		●	
宮古保健所	ひが小児科医院	宮古島市平良西里781-5	小児科		●			
	きしもと内科医院	宮古島市平良字下里1555-1	内科	●				
	池村内科医院	宮古島市平良字東仲宗根194	内科	●				
	下地眼科医院	宮古島市平良下里577-1	眼科			●		
	県立八重山病院	沖縄県石垣市真栄里584-1	小児科、内科、基幹	●	●		●	
八重山保健所	よしもとこどもクリニック	石垣市登野城1024-1	小児科		●			
	宮良眼科医院	石垣市字大川140	眼科			●		
	真玉橋クリニック	那覇市識名1316-3	内科	●				
那覇市保健所	那覇市立病院	那覇市古島2-31-1	小児科、内科、基幹、STD(産)	●	●		●	●
	沖縄赤十字病院	那覇市与儀1-3-1	小児科、内科、STD(産)	●	●			●
	沖縄協同病院	那覇市古波蔵4-10-55	小児科、内科	●	●			
	西町クリニック	那覇市西3-4-1	小児科、内科	●	●			
	かおる小児科	那覇市字国場724-3 メゾンセブン101	小児科		●			
	まんまる子どもクリニック	那覇市宇栄原2-18-8	小児科		●			
	安謝ファミリークリニック	那覇市曙2-9-2	小児科		●			
	那覇眼科医院	那覇市壺川3-1-8	眼科			●		
	JOYレディースクリニックくもじ	那覇市久茂地1-8-16	STD(泌)					●

※1 2024年12月31日現在

※2 2024年3月31日まで

※3 2024年8月26日から

※4 2024年7月29日から

3 報告週対応表および定点種別定点数（全国）

月	週	平均			週 報				月 報	
					インフルエンザ /COVID-19定点	小児科 定点	眼科定点	基幹定点	STD定点	基幹定点
		期間			4,931	3,131	694	481	981	480
1月	1	1/1	～	1/7	4,899	3,107	690	479	981	481
	2	1/8	～	1/14	4,930	3,134	693	480		
	3	1/15	～	1/21	4,931	3,129	693	480		
	4	1/22	～	1/28	4,933	3,132	695	481		
	5	1/29	～	2/4	4,933	3,132	698	482		
2月	6	2/5	～	2/11	4,929	3,133	695	482	981	481
	7	2/12	～	2/18	4,936	3,135	693	482		
	8	2/19	～	2/25	4,938	3,136	696	482		
	9	2/26	～	3/3	4,938	3,136	694	482		
3月	10	3/4	～	3/10	4,936	3,135	696	482	983	480
	11	3/11	～	3/17	4,934	3,135	695	482		
	12	3/18	～	3/24	4,938	3,138	696	482		
	13	3/25	～	3/31	4,935	3,134	694	482		
4月	14	4/1	～	4/7	4,933	3,130	694	482	983	480
	15	4/8	～	4/14	4,929	3,131	691	482		
	16	4/15	～	4/21	4,935	3,133	694	482		
	17	4/22	～	4/28	4,922	3,125	690	482		
	18	4/29	～	5/5	4,888	3,103	684	482		
5月	19	5/6	～	5/12	4,943	3,140	696	482	984	481
	20	5/13	～	5/19	4,947	3,141	697	482		
	21	5/20	～	5/26	4,943	3,140	698	482		
	22	5/27	～	6/2	4,942	3,136	697	482		
6月	23	6/3	～	6/9	4,943	3,145	698	482	984	481
	24	6/10	～	6/16	4,943	3,141	698	481		
	25	6/17	～	6/23	4,938	3,137	696	479		
	26	6/24	～	6/30	4,948	3,142	696	482		
7月	27	7/1	～	7/7	4,941	3,140	698	481	983	482
	28	7/8	～	7/14	4,941	3,144	696	482		
	29	7/15	～	7/21	4,946	3,142	699	482		
	30	7/22	～	7/28	4,945	3,142	697	482		
	31	7/29	～	8/4	4,948	3,143	699	482		
8月	32	8/5	～	8/11	4,891	3,113	686	481	982	481
	33	8/12	～	8/18	4,641	2,932	656	482		
	34	8/19	～	8/25	4,925	3,125	698	482		
	35	8/26	～	9/1	4,947	3,141	697	482		
9月	36	9/2	～	9/8	4,944	3,139	699	481	984	480
	37	9/9	～	9/15	4,939	3,140	697	481		
	38	9/16	～	9/22	4,938	3,135	697	481		
	39	9/23	～	9/29	4,945	3,140	699	481		
	40	9/30	～	10/6	4,949	3,142	698	481		
10月	41	10/7	～	10/13	4,936	3,134	696	481	981	481
	42	10/14	～	10/20	4,940	3,140	698	481		
	43	10/21	～	10/27	4,943	3,139	696	481		
	44	10/28	～	11/3	4,938	3,136	693	481		
11月	45	11/4	～	11/10	4,946	3,142	696	481	977	481
	46	11/11	～	11/17	4,942	3,139	698	481		
	47	11/18	～	11/24	4,941	3,139	697	481		
	48	11/25	～	12/1	4,945	3,138	698	481		
12月	49	12/2	～	12/8	4,945	3,141	699	481	977	481
	50	12/9	～	12/15	4,945	3,141	698	481		
	51	12/16	～	12/22	4,949	3,142	699	481		
	52	12/23	～	12/29	4,938	3,134	697	481		

Ⅱ 報告の概要

Ⅱ 報告の概要

2024 年における沖縄県での報告は、一類感染症が 0 人、二類感染症が 291 人、三類感染症が 45 人、四類感染症が 79 人、全数把握五類感染症が 475 人、定点把握五類感染症が 50,042 人であった。

定点把握五類感染症は、週単位報告（週報）と月単位報告（月報）に大別され、週報はインフルエンザ/COVID-19 定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点報告に、月報は性感染症（STD）定点と基幹定点報告に細分類される。なお、2024 年は、週報が 2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 29 日までの 52 週分、月報が 2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日までの 12 ヶ月分である。

1 全数把握感染症（91 疾患）の報告状況

2024 年に県内で報告された全数把握感染症は 25 疾患で 890 人だった。

（1）一類感染症（7 疾患）

届出件数は 0 件だった。

（2）二類感染症（7 疾患）

届出があった疾患は結核 1 疾患で、291 件の届出があった。

（3）三類感染症（5 疾患）

届出があった疾患は腸管出血性大腸菌感染症 1 疾患で、45 件の届出があった。

（4）四類感染症（44 疾患）

以下の 6 疾患で計 79 件の届出があった。

E 型肝炎：5 件の届出があった。

つつが虫病：8 件の届出があった。

デング熱：3 件の届出があった。

マラリア：1 件の届出があった。

レジオネラ症：35 件の届出があった。

レプトスピラ症：27 件の届出があった。

（5）五類感染症（24 疾患）

以下の 16 疾患で計 475 件の届出があった。

アメーバ赤痢：6 件の届出があった。

ウイルス性肝炎（A 型及び E 型を除く）：2 件の届出があった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：39 件の届出があった。

急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）：3 件の届出があった。

急性脳炎（ウエストナイル/日本脳炎を除く）：22 件の届出があった。
クロイツフェルト・ヤコブ病：3 件の届出があった。
劇症型溶血性レンサ球菌感染症：47 件の届出があった。
後天性免疫不全症候群：11 件の届出があった。
侵襲性インフルエンザ菌感染症：29 件の届出があった。
侵襲性髄膜炎菌感染症：2 件の届出があった。
侵襲性肺炎球菌感染症：84 件の届出があった。
水痘（入院例）：5 件の届出があった。
梅毒：130 件の届出があった。
破傷風：5 件の届出があった。
バンコマイシン耐性腸球菌感染症：1 件の届出があった。
百日咳：86 件の届出があった。

（6）新型インフルエンザ等感染症（4 疾患）

届出があった疾患はなかった。

2 五類定点把握感染症（週報 18 疾患、月報 7 疾患）の報告状況

（1）週報

ア．インフルエンザ／COVID-19 定点

2024 年に県内で報告されたインフルエンザの報告数は 32,570 人、定点当たり報告数は 595.84 人（前年比 100%）だった。2023/2024 シーズン（2023 年第 36 週～2024 年第 35 週）に医療機関から提出されたインフルエンザウイルスの検出状況は、AH1pdm09_45 例、AH3 亜型 4 例、B 型 1 例（ビクトリア系統 1 例、山形系統 0 例）であった。

2023 年第 19 週から COVID-19 は五類定点把握疾患となった。2024 年に県内で報告された COVID-19 の報告数は 22,620 人、定点当たり報告数は 422.63 人だった。

イ．小児科定点

小児科定点対象の疾患を年間定点当たり報告数が多かった順に並べると、上位 3 疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、感染性胃腸炎であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 4,585 人、定点当たり報告数は 148.29 人（前年比 160%）だった。

手足口病の報告数は 4,098 人、定点当たり報告数は 130.35 人（前年比 163.8%）だった。

感染性胃腸炎の報告数は 3,124 人、定点当たり報告数は 100.82 人（前年比 40.9%）だった。

ウ．眼科定点

県内の急性出血性結膜炎の報告数は 5 人、定点当たり報告数は 0.61 人（前年比 96.1%）

だった。

流行性角結膜炎の報告数は 522 人、定点当たり報告数は 63.18 人（前年比 90.4%）だった。

エ. 基幹定点

県内の細菌性髄膜炎の報告数は 11 人、定点当たり報告数は 1.56 人（前年比 54.7%）だった。

無菌性髄膜炎の報告数は 14 人、定点当たり報告数は 1.99 人（前年比 78.7%）だった。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 409 人、定点当たり報告数は 58.44（前年比 1637.0%）だった。

クラミジア肺炎の報告数は 0 人だった（前年は報告なし）。

感染性胃腸炎（ロタウイルス）の報告数は 0 人だった（前年は報告なし）。

（2）月報

ア. 性感染症（STD）

性器クラミジア感染症の報告数は 343 人、定点当たり報告数は 28.57 人（前年比 85.7%）だった。

性器ヘルペスウイルス感染症は報告数 62 人、定点当たり報告数は 5.17 人（前年比 164%）だった。

尖圭コンジローマは報告数 54 人、定点当たり報告数は 4.51 人（前年比 87.2%）だった。

淋菌感染症は報告数 57 人、定点当たり報告数は 4.74 人（前年比 84.9%）だった。

イ. 基幹定点

県内のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症の報告数は 365 人、定点当たり報告数は 52.13 人（前年比 97%）だった。

ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）感染症は報告数 26 人、定点当たり報告数は 3.73 人（前年比 53.3%）だった。

薬剤耐性緑膿菌感染症は報告数 0 人だった。

MEMO

3 週別患者発生状況

(1) 報告数一覧表（沖縄県）

	疾患名	報告数 (人)		定点当たり報告数 (人／定点)		定点当たり報告数 前年比 (%)
		2023年	2024年	2023年	2024年	
インフルエンザ /COVID-19定点	インフルエンザ	33,058	32,570	603.41	595.84	98.7
	COVID-19	22,585	22,620	418.24	422.63	101.0
小児科定点	RSウイルス感染症	1,550	1,479	49.75	49.00	98.5
	咽頭結膜熱	2,862	981	92.14	31.83	34.5
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,962	4,585	94.80	148.29	156.4
	感染性胃腸炎	3,500	3,124	111.44	100.82	90.5
	水痘	146	342	4.55	11.11	244.2
	手足口病	2,526	4,098	79.60	130.35	163.8
	伝染性紅斑	24	118	0.75	3.67	489.3
	突発性発しん	354	321	11.26	10.37	92.1
	ヘルパンギーナ	467	468	15.00	15.43	102.9
	流行性耳下腺炎	82	83	2.55	2.64	103.5
眼科定点	急性出血性結膜炎	13	5	1.49	0.61	40.9
	流行性角結膜炎	567	522	69.88	63.18	90.4
基幹定点	細菌性髄膜炎	20	11	2.85	1.56	54.7
	無菌性髄膜炎	18	14	2.53	1.99	78.7
	マイコプラズマ肺炎	25	409	3.57	58.44	1,637.0
	クラミジア肺炎	2	0	0.28	0.00	－
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	5	0.00	0.70	－

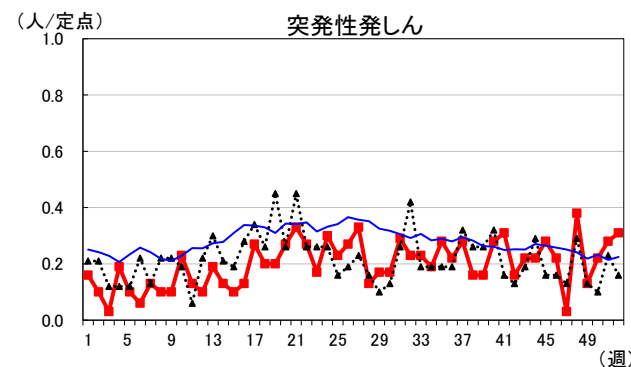
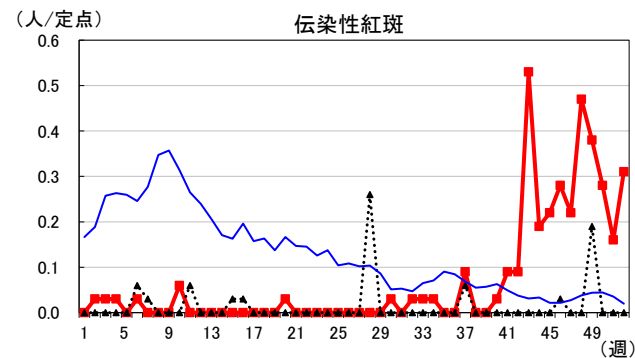
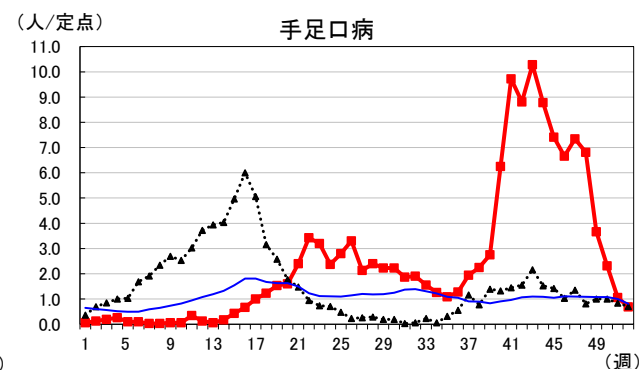
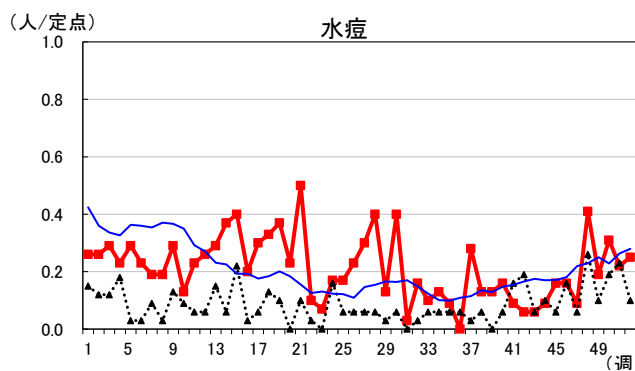
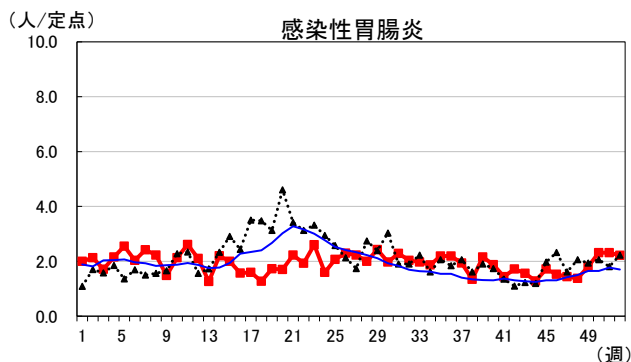
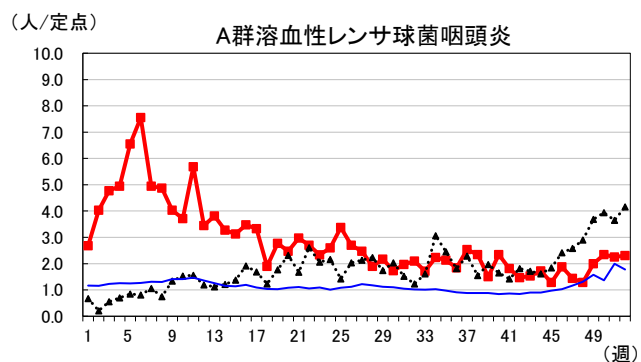
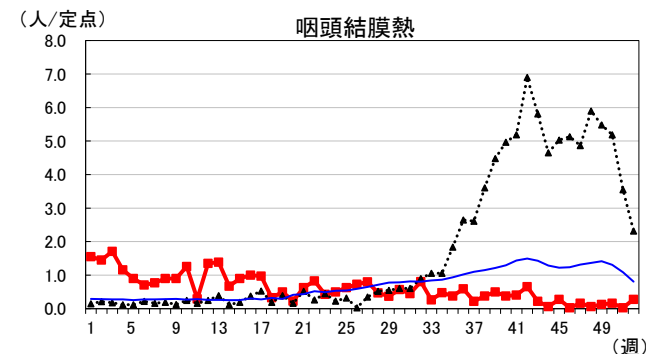
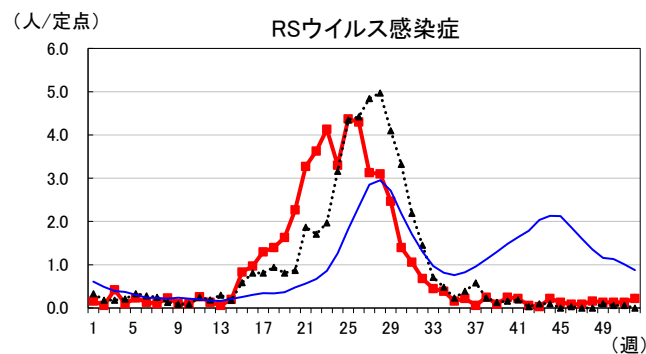
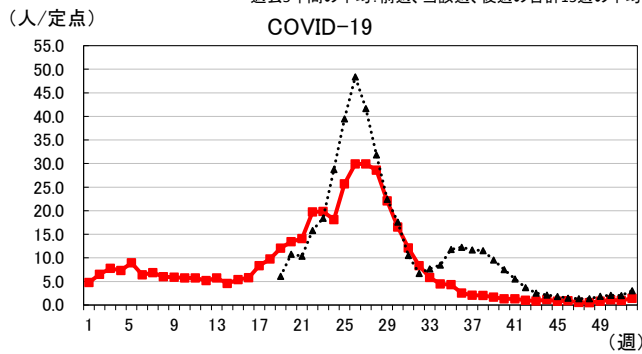
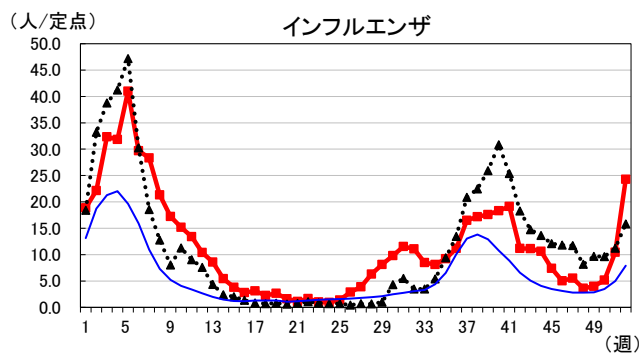
(2) 報告数一覧表（全国）

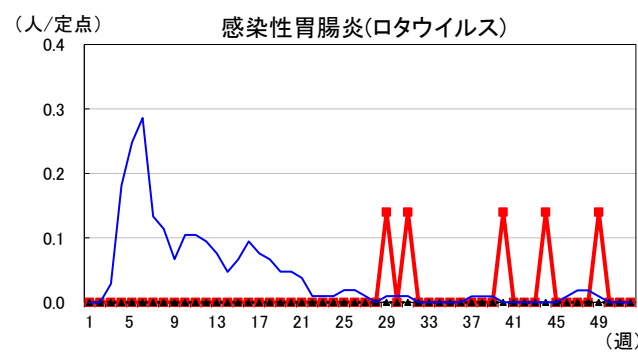
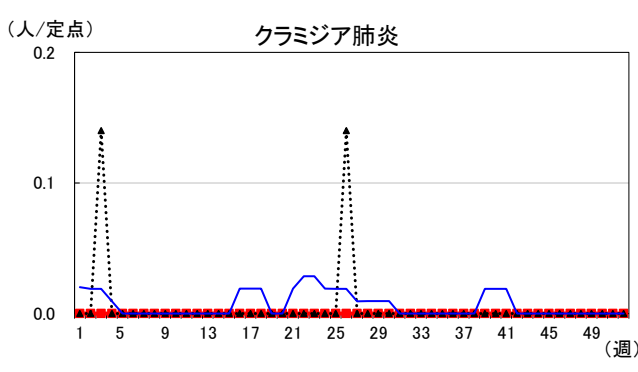
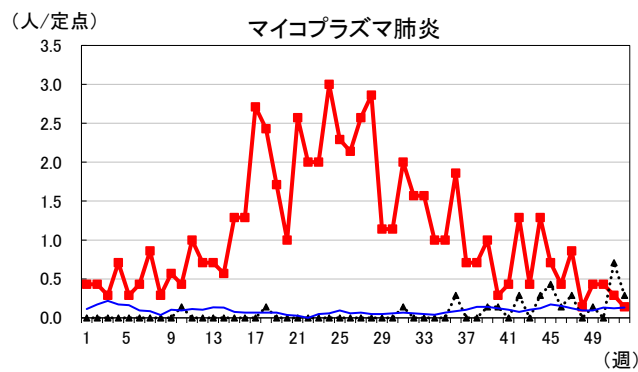
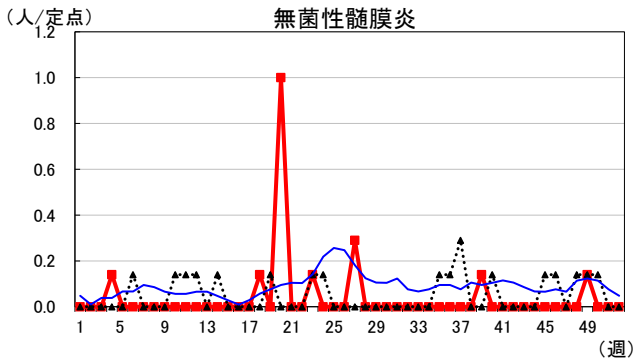
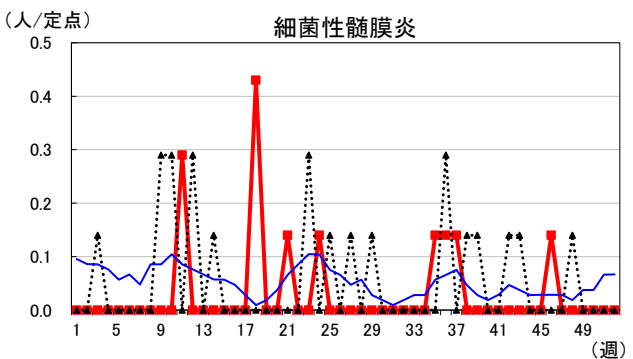
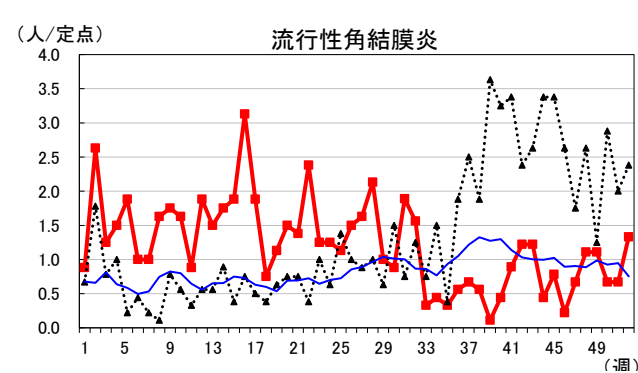
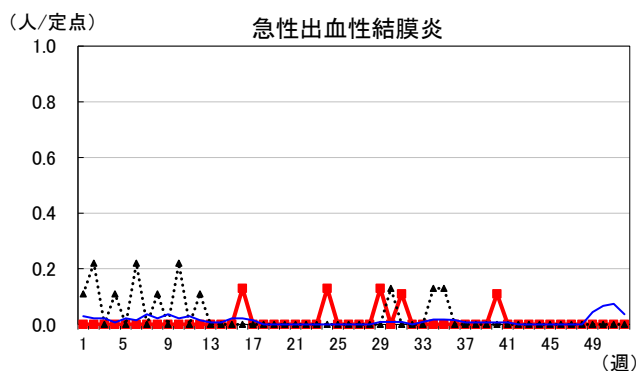
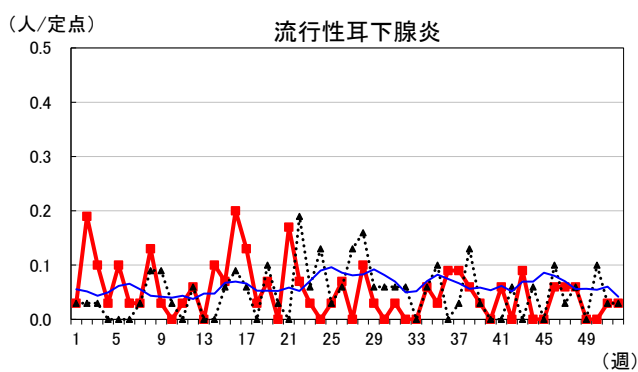
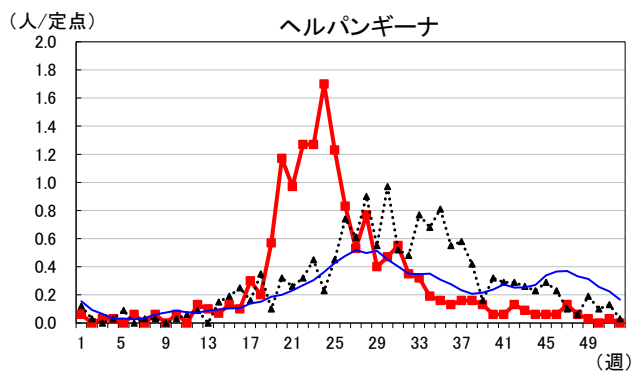
	疾患名	報告数 (人)		定点当たり報告数 (人／定点)		定点当たり報告数 前年比 (%)
		2023年	2024年	2023年	2024年	
インフルエンザ /COVID-19定点	インフルエンザ	2,311,261	1,911,403	468.53	387.63	82.7
	COVID-19	1,371,797	1,593,275	278.09	323.11	116.2
小児科定点	RSウイルス感染症	145,536	122,794	46.35	39.22	84.6
	咽頭結膜熱	178,095	99,435	56.72	31.76	56.0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	266,242	495,932	84.79	158.39	186.8
	感染性胃腸炎	765,836	657,421	243.90	209.97	86.1
	水痘	16,262	28,330	5.18	9.05	174.7
	手足口病	100,106	663,320	31.88	211.86	664.6
	伝染性紅斑	2,220	32,189	0.71	10.28	1,447.9
	突発性発しん	40,817	41,260	13.00	13.18	101.4
	ヘルパンギーナ	194,747	74,800	62.02	23.89	38.5
	流行性耳下腺炎	6,864	6,416	2.19	2.05	93.6
眼科定点	急性出血性結膜炎	424	720	0.61	1.04	170.5
	流行性角結膜炎	18,177	20,302	26.15	29.25	111.9
基幹定点	細菌性髄膜炎	401	465	0.84	0.97	115.5
	無菌性髄膜炎	714	801	1.49	1.67	112.1
	マイコプラズマ肺炎	1,075	22,524	2.24	46.83	2,090.6
	クラミジア肺炎	26	72	0.05	0.15	300.0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	144	317	0.30	0.66	220.0

(3) 定点当たり報告数グラフ一覧（沖縄県）

— 2024年 ... 2023年 — 過去5年間の平均※

※過去5年間の平均：前週、当該週、後週の合計15週の平均

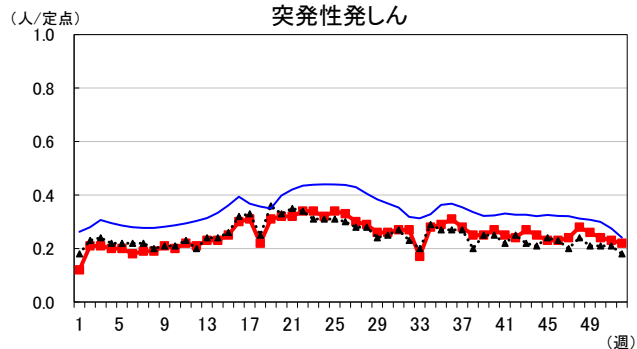
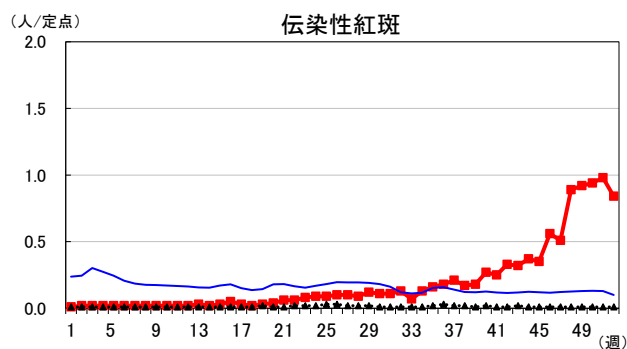
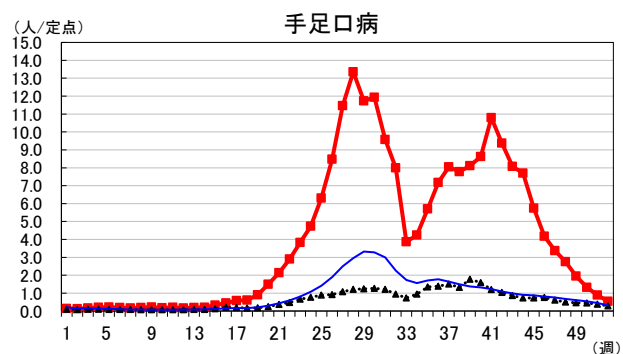
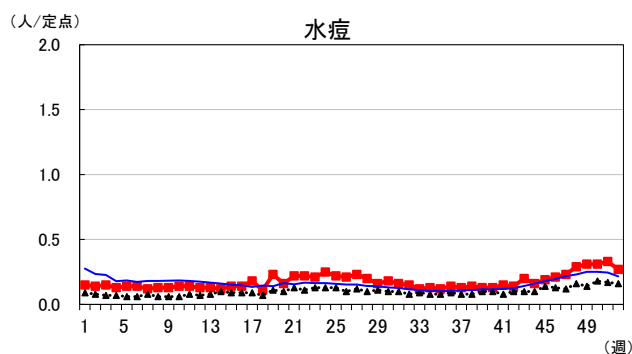
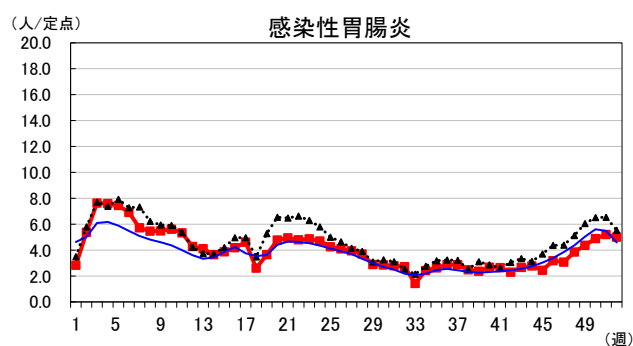
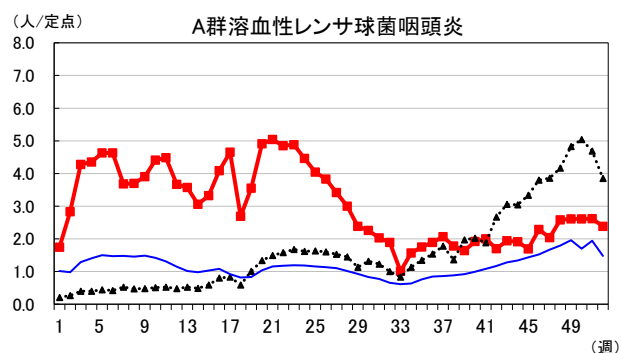
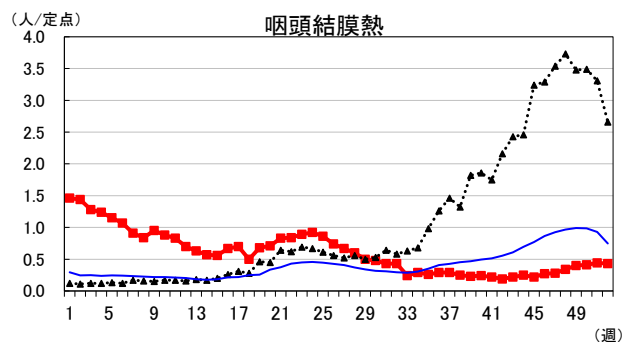
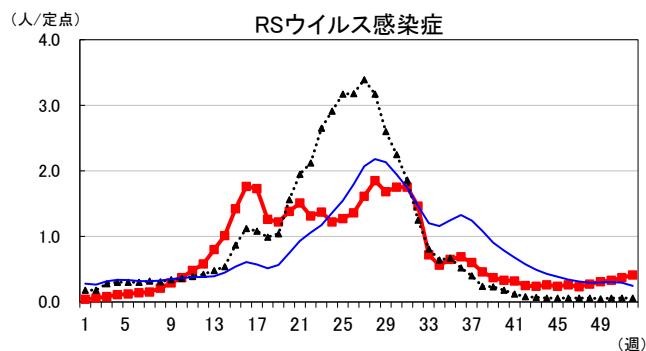
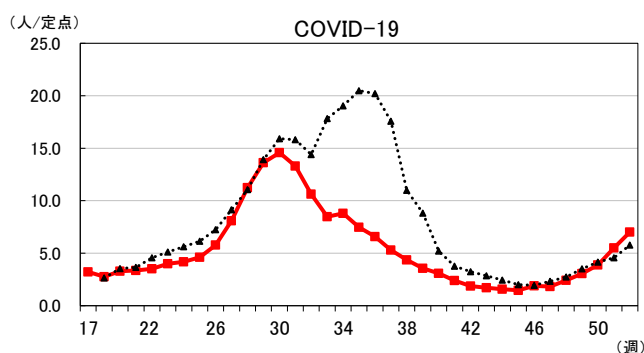
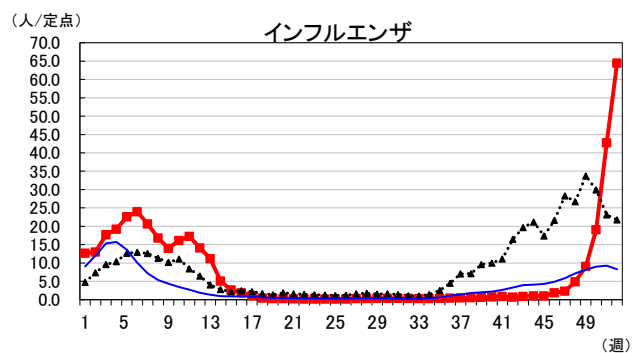


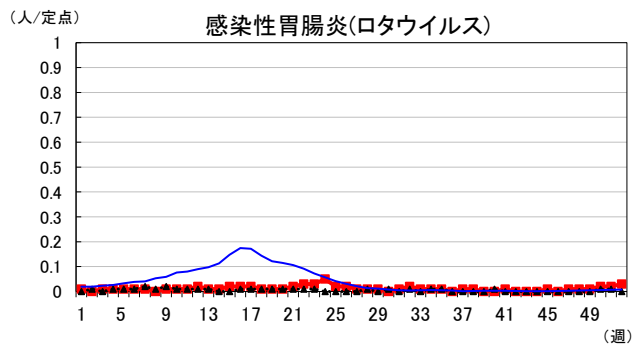
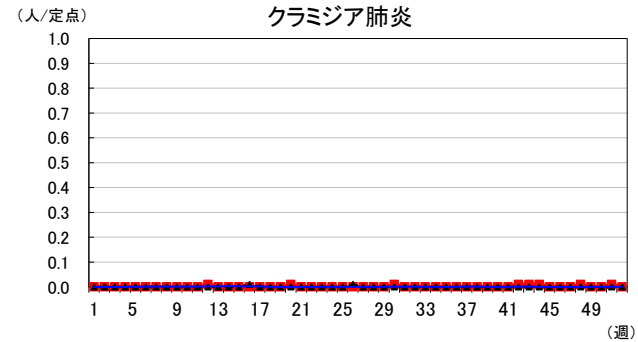
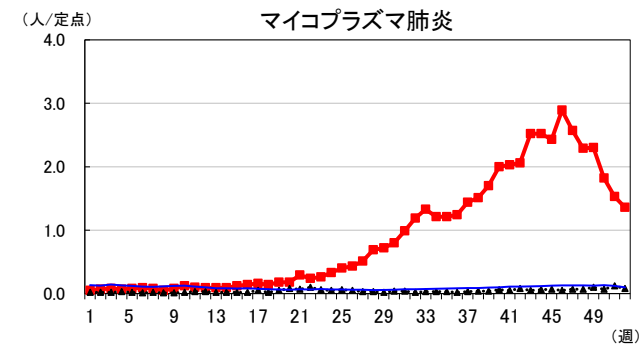
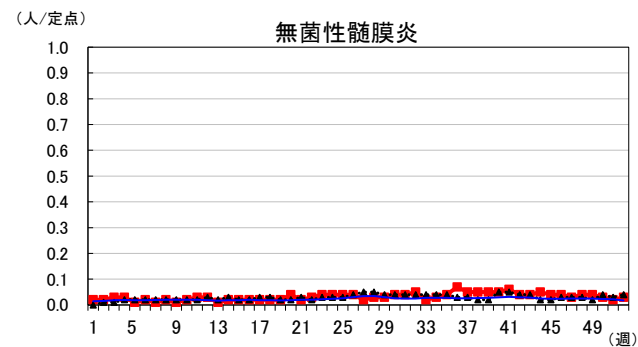
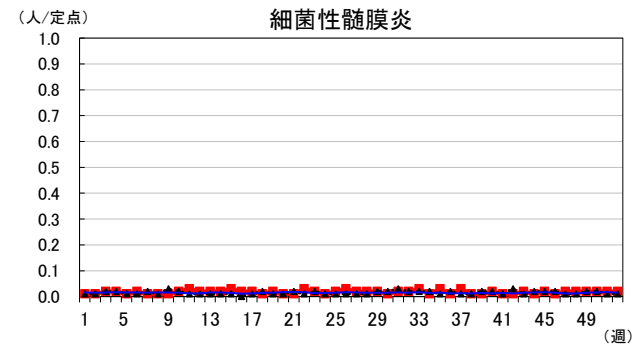
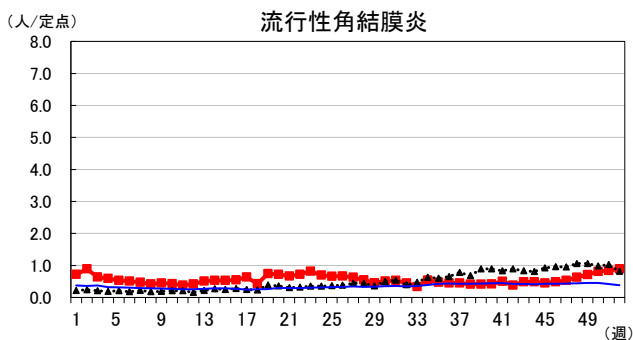
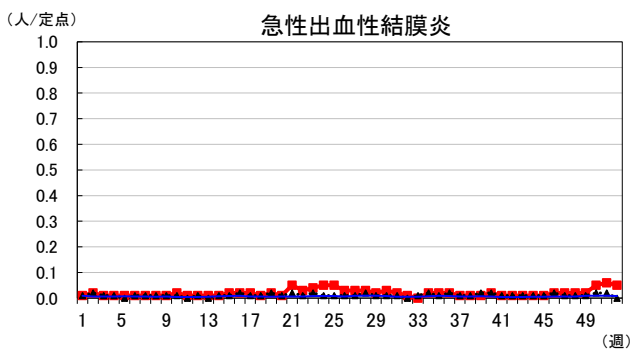
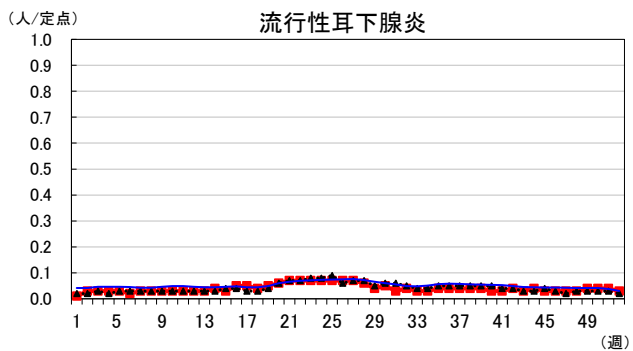
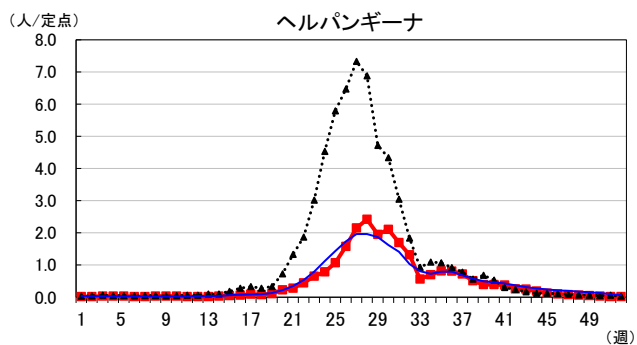


(4) 定点当たり報告数グラフ一覧 (全国)

— 2024年 ... 2023年 — 過去5年間の平均※

※過去5年間の平均:前週、当該週、後週の合計15週の平均





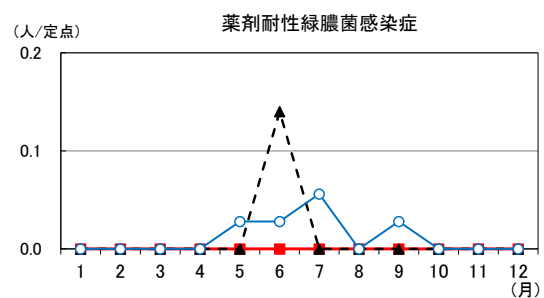
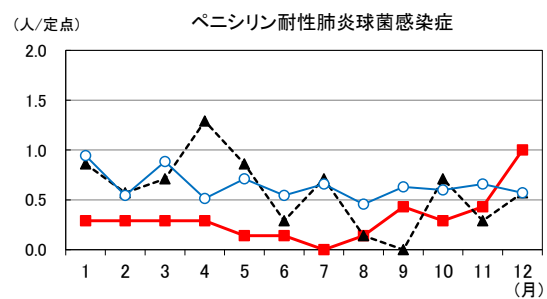
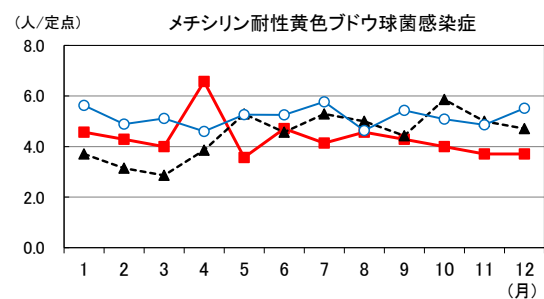
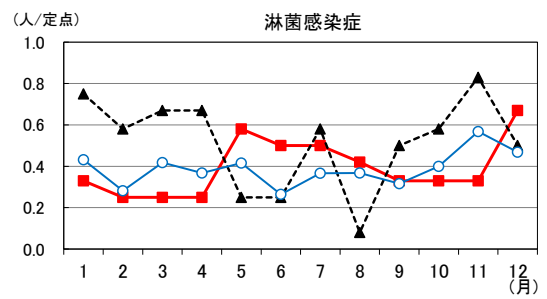
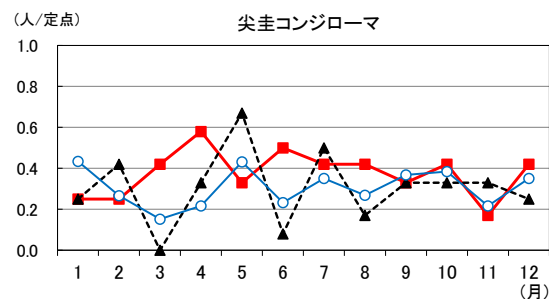
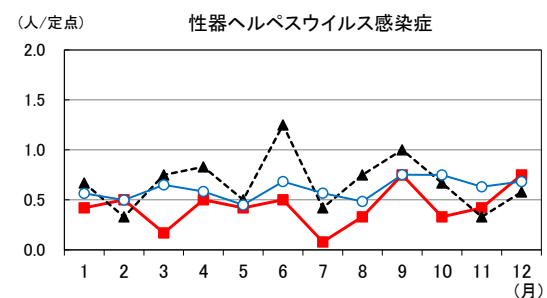
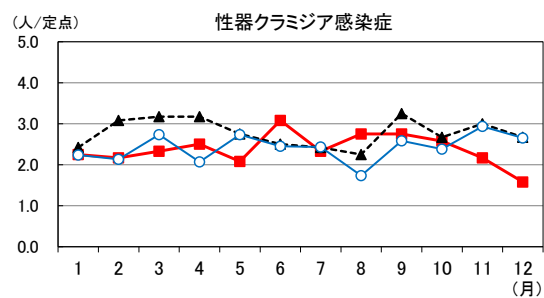
4 月別患者発生状況

(1) 報告数一覧表（沖縄県）

	疾患名	報告数(人)		定点当たり報告数 (人/定点)		定点当たり報告数 前年比 (%)
		2023年	2024年	2023年	2024年	
STD	性器クラミジア感染症	400	343	33.35	28.57	85.7
	性器ヘルペスウイルス感染症	97	62	8.08	5.17	64.0
	尖圭コンジローマ	44	54	3.66	4.51	123.2
	淋菌感染症	75	57	6.24	4.74	76.0
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	376	365	53.72	52.13	97.0
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	49	26	7.00	3.73	53.3
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0	0.14	0.00	0.0

(2) グラフ一覧（沖縄県）

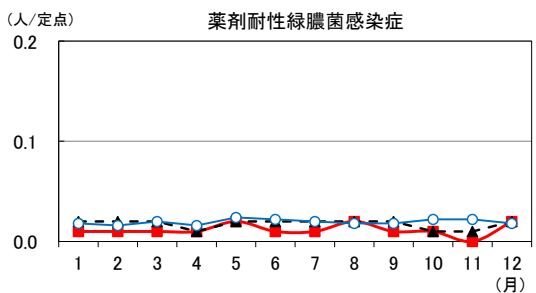
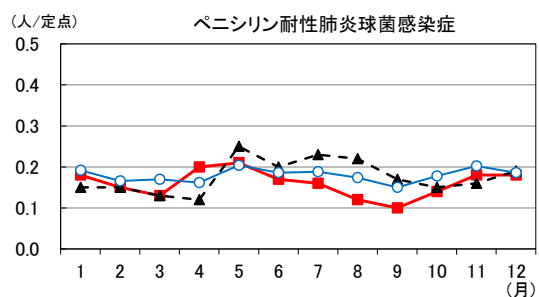
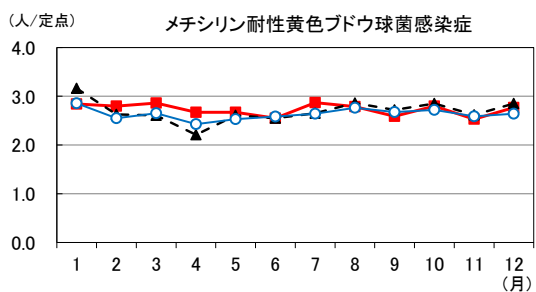
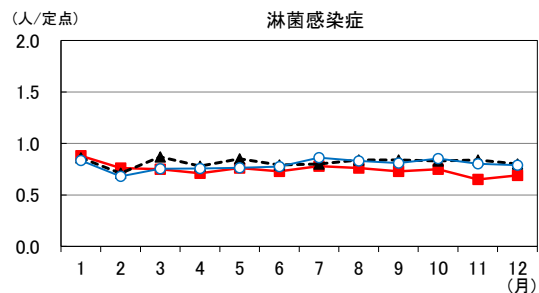
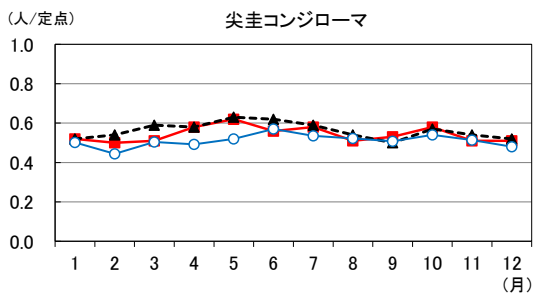
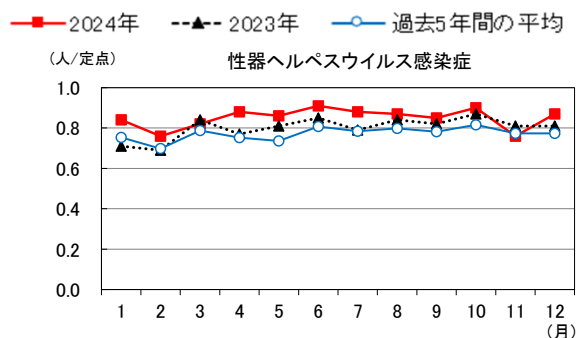
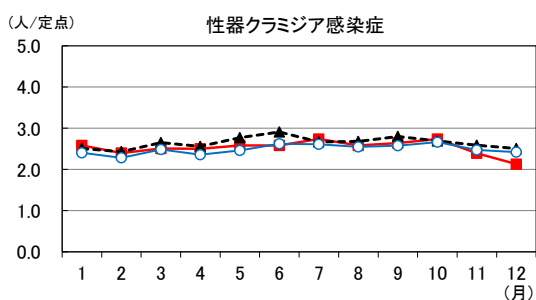
—■— 2024年 -▲- 2023年 ○— 過去5年間の平均



(3) 報告数一覧表（全国）

	疾患名	報告数(人)		定点当たり報告数 (人／定点)		定点当たり報告数 前年比 (%)
		2023年	2024年	2023年	2024年	
STD	性器クラミジア感染症	30,136	29,806	30.66	30.38	99.1
	性器ヘルペスウイルス感染症	8,705	10,010	8.86	10.20	115.1
	尖圭コンジローマ	5,979	6,387	6.08	6.51	107.1
	淋菌感染症	9,993	8,791	10.17	8.96	88.1
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14,694	15,744	30.68	32.80	106.9
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	698	916	1.46	1.91	130.8
	薬剤耐性緑膿菌感染症	103	72	0.22	0.15	68.2

(4) グラフ一覧(全国)



MEMO